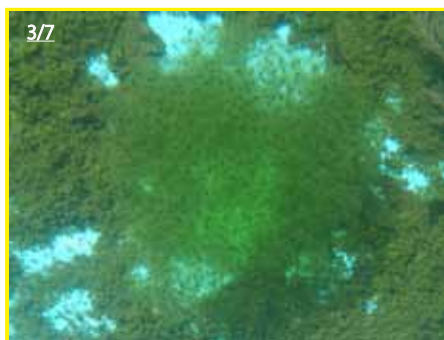


～ 春、生きもの動きだす ～

水辺からカエルの鳴き声が聞こえてくる

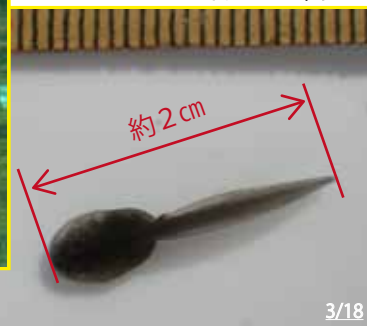


ヤマアカガエルの産卵



↑ヤマアカガエルの卵（卵塊）  
小宮ふるさと自然体験学校のプール

↓ヤマアカガエルの  
オタマジャクシ



早春、両生類の産卵が盛んな横沢入



トウキョウサンショウウオの卵のうも確認

今年は大雪が2回も連続したため、3月中旬でも山に雪が残っています。この残雪は早春活動し始める生き物にも何らかの影響を及ぼしているものと推測されます。実際、例年に比べると春植物のアズマイチゲやカタクリの開花する時期が遅くなっています。芽を出し葉を展開する時期に、まだ雪が地面に覆いかぶさっているのですから、それは春植物の成長を妨げ開花時期がずれてくるわけです。

さて、例年であれば春の最初の雨が降った後、ヤマアカガエルやニホンアカガエルは産卵を始めます。小宮ふるさと自然体験学校の使用していないプールにもたくさんのヤマアカガエルが産卵に訪れます。今年は2月13日に7コの卵塊を確認しました。しかし、その後に大雪が降ってしまったために、カエルの産卵行動は観察できなくなり、再度確認でき

たのは3月7日のことでした。小宮周辺の林床の雪が溶けてからようやく産卵を再開したような気がします。ちなみに、3月22日現在、ヤマアカガエルの卵塊は合計18コになっています。（数えてみたのですが、1卵塊に1814コの卵がありました。）2月に産み付けられた卵からはオタマジャクシがかえり、約2cmの大きさになっています。

本来ヤマアカガエルは山から近い田んぼや枯れることのない水たまりなどに卵を産みます。そのため、横沢入のような谷津田の環境が生息場所、産卵場所共に適しているといえます。3月8日、横沢入にてたくさんのヤマアカガエルの鳴き声を聞くことが出来ました。それでも昔と比べてカエルを見なくなったというお話をよく聞きます。早春カエルの鳴き声を聞くことが出来る環境を残していきたいものです。（文、佐々木 写真、篠木）

## おまけ 早春、沢で産卵するカエル

早春、冷たい沢の中で産卵するカエルがいます。ナガレタゴガエルというカエルです。名前のとおり、早春の沢をカエルが流れているのです。（オスとメスが出会うため！）水温3℃くらいの沢の中で産卵するというのですから何とも不思議なカエルです。今では数が減ってしまいましたが、昔は早春、取水口にカエルが詰まるという事件が起こるほど生息していたそうです。（文、佐々木 写真は15年ぐらい前に篠木が沢に入りて撮影。）



↑皮膚がプヨプヨです。この時期だけです。



↑卵は数が少なく大き目



# 春に向かって、道の整備が進んでいます

## 協働

最近、調査に明け暮れていましたが、森林レンジャーの大きな業務に地域との連携による「昔道の整備、景観整備」が挙げられます。地域の自治会・町内会の方々の予定もあり、また、2月の大雪もあり、ここに来て作業の予定がバタバタと入ってきました。夏の草刈以降、少し間があきましたが、久しぶりに地域の方達との作業、昔の話などを聞きながら楽しい作業で汗を流しました。



←高尾自治会整備  
一番の難所に階段  
を設置



→ 菅生町内会  
菅生丘陵のハイキン  
グコースで枯れた危  
険木の処理

### 高尾自治会

高尾神社から城山(ジョウヤマ)までのコースで、一番の難所、大きなタル部への階段の設置がメインな仕事、今年の冬に城山山頂周辺で、地主さんの許可を受けて眺望が良くなるように切った木を、皆でかついで階段の材料として運んだことが思い出されます。その階段が完成しました。また、手すりに太めのロープも張られて(70m)安全に上り下りできるようになっています。

また、眺望のよい所にベンチの設置、石が出ているところは、発電機をかつぎ上げて、削岩機で階段を削り出して、城山までのコースが完成しました。

弁天山ー城山(ジョウヤマ)ー高尾神社でのコースは完成し、最後は、高尾公園でゆっくりできる半日の散策コースとして、今後の活用が楽しみです。

### 菅生町内会

菅生丘陵の尾根道の整備で、ノコギリやチェーンソーを持って回ってきました。サポートレンジャーの方々、4名の参加もあり、レンジャーのガイド付きで、楽しく過ごしてきました。作業は、ハイキングコース脇の危険な枯れ木を切り倒して、事前に倒木の発生を抑えるような管理になりました。この日、以外にも3月中に何度も作業を進めて、春の行楽シーズンには安全に歩けるようになりました。

私達レンジャーも、サポートレンジャーも毎回の参加は難しかったのですが、危険木が処理され、階段ができ、ゆっくりと散策できるようになりました。

これからの季節、このコース、思いのほかヤマザクラが沢山あり、淡いピンクが春霞のように幻想的な姿を見られます。

杉野二郎

## 第4期 森の子コレンジャー募集！(平成26年度)

森の子コレンジャーとは、森林レンジャーの日々の調査や巡視、地域との協働作業から得たことを、子ども達に引き継ぎ、あきる野の自然を愛する将来の森林レンジャーを育てるための活動です。

森の子コレンジャーの活動は今年で4年目を迎えます。自然を楽しむことの先にある“より深く自然を学ぶ”活動へと進化し、3期では子ども達それぞれの研究心を要に、人と野生動物が暮らすあきる野の森の現状を学び、共に森づくりの活動を広げてきました。私たちと共に過ごす自然が、子どもたちそれぞれの将来の“芽”や“生み出す力”を育てています。森林レンジャーから自然を深く学びたい！自然について1年間通して研究したい！など強い思いのある子どもたちと共に活動していきたいと思っています。

対象：市内在住の小学4～6年生の男女(6年生はリーダーとして活動できるコレンジャー経験者)

募集人数：20名(1年間一緒に活動できること)※定員をこえた場合は選考します。

活動時期：基本的に年8回(5月18日、6月8日、8月17日、10月19日、11月9日、12月14日、1月18日、3月8日)の日曜日(予定)※日程を変更することがあります。

活動時間：9:30から16:00くらい(季節により変わります)

活動場所：市内の森

参加費：2,000円(1年間の活動実費、保険代含む)

応募方法：応募用紙があります。お問い合わせください。(応募締切り4月30日当日消印有効)

問い合わせ先：五日市出張所 環境政策課 環境の森推進係

(042) 595-1120

受付時間は平日の8:30から17:00まで

森の子コレンジャー担当 森林レンジャーあきる野 加瀬澤